

OMUP ニュースレター

大阪公立大学共同出版会
〒599-8531堺市学園町1-1
TEL(072)252-1161 FAX54-9408
福込先 UFJ銀行中もず支店
普通 3976510
大阪公立大学共同出版会
編集・発行 W. WORKS

第三回評議員会総会、 第五回OMUPサロン、 懇親会、盛会に終わる

去る5月24日、我が大阪公立大学共同出版会(OMUP)の会員総会とも言える評議員総会が開催され、平成14年度決算案、平成15年度予算案を中心に承認された。OMUPの活動も三年目に入り、予算規模も一千万円近くになるなど、少しずつ出版の輪が広がっていることが分かる予算内容となった。議題の審議内容は概略以下であった。

- 一、平成14年度事業内容の報告と決算案の承認
- 二、平成15年度事業予算案の承認
- 三、定款の一部変更
- 四、活動計画(会員募集、大学出版会、出版の促進)について

総会終了後、阿部敦氏を囲んで第5回OMUPサロンが開催された。『社会保障政策従属型ボランティア政策』は、金沢大学大学院での博士論文を本にしたもの(サロン紹介、新刊紹介参照)。今回のサロンはいつもの趣を異にした講演会形式であったが、若さを前面に忌憚らない話がばんばん飛び出す

内容に、会場は新鮮な空気に包まれた。サロン終了後、学術交流会館ロビーではOMUP編集長金井一弘氏の司会で恒例の懇親会が行われ、会員相互の親睦が図られた。会場では、既刊本の展示・販売なども展示された。今回は、今後出版が予定されている村田氏(女子大)の日仏共同出版本の装丁を担当されるデザイナー辻村氏も加えられた。素晴らしいデザイナーの数々をご披露され、みんなの関心を集めていた。和やかな中に熱く、OMUP設立二周年を祝ってスピー

■平成14年度事業決算及び平成15年度事業予算

収入の部	平成14年度予算	平成14年度決算	平成15年度予算
前年度繰越金	1,408,944	1,408,944	2,536,247
書籍売り上げ		431,641	500,000
出版料(著者から)	4,800,000	4,550,250	6,500,000
共同出版募金			
出資金(1口10,000円)	500,000	120,000	100,000
広告料	4,000	3,000	6,000
利息	500	45	1
総会、サロン、懇親会等会費		135,000	
雑収入		3,275	
合計	6,713,444	6,652,155	9,642,248

支出の部	平成14年度予算	平成14年度決算	平成15年度予算
1 直接出版関係費用	3,840,000	3,013,349	5,000,000
(1)製造費	30,000	18,975	35,000
(2)運送・発送費	480,000	362,000	600,000
(3)編集デザイン料			1,000,000
(4)企画出版			
小計	4,350,000	3,394,324	6,635,000
2 事務費用	50,000	3,240	50,000
(1)交通費	20,000	45,690	50,000
(2)通信費	20,000	37,177	50,000
(3)消耗品費	50,000	0	0
(4)備品費	30,000	0	100,000
(5)出張費	10,000	133,642	10,000
(6)会議費	10,000	70,000	100,000
(7)調査研究費	50,000	90,144	300,000
(8)広報・広告	50,000	36,266	50,000
(9)渉外費	10,000	0	0
(10)光熱水費	300,000	300,000	300,000
(11)業務委託	2,000	5,425	100,000
(12)振込支払料			
小計	602,000	721,584	1,110,000
3 次年度繰越金	1,761,444	2,536,247	1,897,248
合計	6,713,444	6,652,155	9,642,248

チが交わされたほか、出版計画その他貴重な情報交換の場となった。『OMUP会員が新人生にすすめる本』にすずめる本』市大、府大、女子大生協の協力で刊行実現！

「OMUP会員が新人生にすすめる本」 市大、府大、女子大生協 の協力で刊行実現！

この度、OMUPと市大、府大、女子大の三生協との共同企画により、「OMUP会員が新人生に薦める本」というパンフレットを刊行いたしました。刊行に際した費用の半分を各大学生協から拠出したもので、くことで実現可能となったものです。OMUPでは、優良学術図書刊行頒布の事業を行い、学術の振興および文化の発展に寄与することを目的としています。その一環として、かねてより、学生への図書の普及という課題をもつていました。この度の本パンフレットの発刊によって、その一助になればと思っております。各生協での図書販売促進に寄与できることを期待するとともに、先生方から学生のメッセージ

OMUPが発足して2年が経過。3年目を迎えた今、一層の発展と社会貢献を願い、決意を新たに理事長からのメッセージです。

寄稿

OMUP 3年目を迎えて

理事長 大阪府立大学教授
桑原 孝雄 氏



OMUP会員の皆様にはお元気にご活躍のことと拝察申し上げます。日頃はOMUPの活動に対し種々ご支援頂き誠に有り難うございます。お蔭様でOMUPは3年目を迎えることになりました。

この2年間少しずつでございますが、”どこよりも早く・早く・良いものを!”モットーに着実に出版を重ねてまいりました。そして、著者や編者の方々からも大変好評を得ております。世の不況は悪く成るばかりですが、せめて会員の皆様には出版の喜びと充実感を得ていただきたいものと思っております。

常務理事会では企画・編集に当り出版予定の方々のご要望に出来るだけ答えられるよう努めております。例えば、出版助成制度活用への協力、著者を囲んでのサロンの開催、セミナーや講演会の開催、出

版物のPRそして将来的には、OMUPの経営状況ならびに出版物の売れ行き予想にもよりますが、自費出版経費の1部出資、等も考えております。会員の皆様方のご意見も充分拝聴しながら安定した運営を計りたいものと思っております。

ご存知のように、先日国立大学法人法が成立し、平成16年4月より施行されることになっておりますが、公立大学においても法人化の道は避けられない様相です。このことがOMUPの活動にどのように影響するかは定かではありませんが、この機にOMUPの基盤を一層固めておくべきものと考えております。そして、OMUPの活動が少しでも外部評価のプラスに貢献できるよう活性化したいものです。今後とも会員の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

先生方から学生のメッセージ



『OMUP会員が新人生にすすめる本』を活用したBOOKフェア —— 府大生協で開催される

「OMUP会員が新人生にすすめる本」を活用したBOOKフェアが、各大学生協で開催されました。学生が夏休みに入る前で、読書意欲が1年で最も高まる時期の1つに合わせて実施されたものです。大阪府立大学生協では、6月23日から、当パンフレットに掲載されている全書籍を一同に集めたフェアとなりました。身近な先生たちの推薦図書とあって、興味深く本を手にとっている学生たちの姿がありました。





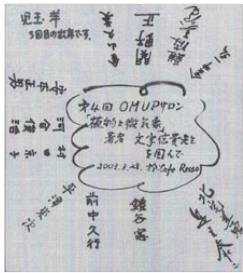
第4回OMUPサロン

第4回OMUPサロンは3月28日午後6時から地下鉄御堂筋線「中もず駅」徒歩5分のイタリアレストラン"Cafe Rosso"で開催された。今回は新刊「植物と微気象」を著された文字信貴教授(大阪府立大学大学院農学生命科学研究科)に出版の秘話、きっかけ、ねらいなどを語っていただいたものである。いわば著書の出版をお祝いし、ご努力を労うと言う意味も兼ねたものでもある。さて、サロンはまず、世話役が文字先生の研究歴を紹介致した後、先生自ら用意されたきれいな液晶プロジェクターを用いた内容の紹介から始まった。気象現象をその気象変動の大きさから4種類に分け、そのスケールの一番小さい「微気象」の説明に始まり、専門的なことを分野の違う人に分かるように淡々と、しかも情熱を傾注しての解説は、まさにサロン参加冥利に尽きるものであった。



文字先生の説明途中にも予想を超える素朴な質問にも丁寧な説明をしていただき、予定の1時間の越えるお話の後、テーブルを変えてイタリア料理とワインを愉しみながら、時間を忘れるほどの会話が飛び交ったのだった。ちょうど国際水フォーラムの終わった直後、毎日新聞の科学部記者も飛び入りがあったりで、今回も非常に格調高いOMUPサロンとなった。

なお、この新刊書籍「植物と微気象」は、優れた教科書として好評発売中であるとともに、一度手にとってご覧になるとお分かりいただけるように、実は優れた研究者が自らの足跡を辿り、かつ体系付けた金字塔の学術書と言えるのでは無かるうか。(文責：足立)



OMUPでは、新刊本が出版されると、著者を囲んだサロンを開催しています。本の出版にまつわるエピソードを著者から直接伺うことのできる場として、OMUPの特徴のひとつとなつていきます。

今年は一月末と三月に相次いで出版されたことを受け、サロンも3月28日に文字氏を囲んで、5月24日には阿部氏を囲んでと続いて開催されています。

第四回OMUPサロン、第五回OMUPサロン、開催

れ、それぞれ著者のお人柄を髣髴させる内容のサロンとなり、参加者一同楽しいひと時を過ごしました。OMUPではこのサロンの開催に見られるように、出版という知的活動にそうよう文化的な場を提示し続けています。著作で味わうことの出来る研究成果だけでなく、その背景となつている著者の情熱、思い入れ、知的好奇心などに触れることができ、毎回好評です。まだ参加されたことのない方も、是非一度参加してみませんか。今年も、今後も続々と新刊が予定されています。一味違うサロンもお楽しみに。

第5回OMUPサロン

第5回OMUPサロンは、多少変則的ではあったが、OMUP評議員総会の開催した5月24日、それも総会終了後、引き続いて行われた。今回のサロンの話題提供は4月新刊の「社会保障政策従属型ボランティア政策」著者である阿部 敦神戸国際大学経済学部専任講師であった。同氏は先頃、金沢大学大学院社会環境科学研究科、地域社会環境学専攻の博士課程を修了され、博士の称号を取得された方である。OMUPに加入され、会員としてもご活躍いただくことをためにも、このチャンスに本書を出版するに至ったか、その経緯を含めてお話しいただき、懇親会をサロンと化すよう企まれたものである。

まず、自己紹介いただいた後、OMUPから出版することになった経緯を含めた出版への意気込みを語っていただいた。これまですでに何冊かの出版経験から、同氏の言う非正当的アプローチ、すなわち教養書に始まり、翻訳書、ケーススタディーの書、そして学術書へと辿った道程と、社会科学系図書の大学出版社(OMUPも含めて)との関係に対する同氏の思いを熱っぽく語っていただいた。それに続き学位としてまとめられた今般の「学術書」を、我が国で展開されているボランティア政策の包括的検証とする同氏の視座から①動機、②オリジナリティー、③結論とに分け、簡潔にして明瞭な語り口で参加者を魅了した。本書も好評中。

最後に、OMUPに対する要望もきっちり述べられるという周到さは今後大いに期待できることを確信するものであった。ちなみにそのキャッチ・コピーを挙げておこう。

- ・ 良い面の継続は今後もぜひ！ 低予算による学術図書の刊行
- ・ 人文・社会学系の充実
- ・ その際の方向性を明確にイメージが大きく決まる
- ・ 教養(啓蒙ではなく)書の位置付けを考えて
- ・ OMUPならではの出版を

(足立)



OMUPで教科書を作ってみませんか

OMUPでは、今後、みなさまの教科書づくりを積極的に応援していきます。昨今、大学も教育評価の時代に入り、授業への工夫が求められています。これまで、授業の中で構築されてき

たものを、体系化し教科書として再構築してみませんか。教科書制作を考えている方、ご関心をお持ちの方、是非ご一報ください。出版にかかる一連の作業や費用等について、担当がお伺いし、ご相談させていただきます。OMUPでは、先生方の教科書づくりを応援していきます。

『社会保障政策従属型ボランティア政策』

阿部 敦著

「ボランティア学」に新たな地平を拓く

現象論に著しく依拠した現行のボランティア論は、人権保障政策の後退に対して無批判なだけでなく、ボランティア活動以外には無関心な「善意のボランティア活動者」を大量に生み出すことに加担している。本書は、そうした現状への警告の書であり、かつ、処方箋の書である。

新刊本紹介

『植物と微気象』

群落大気の乱れとフラックス 文字 信貴著

陸上生態系と大気とのかかわりについて、乱流や微気象に関するテキストは多く出版されていますが、植物と大気との熱あるいは物質交換を、大気乱流の面から扱った適切なものはありません。今回の出版は、その分野における基礎から測定までを含んだ解説書です。著者によるイラストもお楽しみに。



今春、OMUPから新刊が続々発売になりました。一月には文字信貴の『植物と微気象』、三月には阿部敦氏の『社会保障政策従属型ボランティア政策』が出版されました。

新刊続々出版、好評発売中！